

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 5日

事業所名 fun

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1日10人の利用者定員で対応しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		4名で対応しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		入口に段差がありますが、安全に配慮し介助を行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		開始と終了時にスタッフ間で情報共有を行っています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今年度も実施しました。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在はしていませんが、今後必要に応じて導入を検討していきます。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		施設内研修及び、外部研修を実施しています。		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に情報の聞き取りを行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		共通した様式を用いて行っています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフミーティング時に行っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どものニーズ状況に合わせて考えています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		土、祝は外出などイベントを取り入れています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別に課題を提供したり、集団では外出、イベントを実施しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前にスタッフ全員で打ち合わせを行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		子どもの様子、保護者からの引き継ぎ等、情報を共有しています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		当日必ず記録をとっています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度見直しを行っています。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		総則を基にスタッフ間で共有しています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談支援事業所と連携しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者の方を通して学校との連携を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在対象児童がいません。必要になった場合は検討していきたいと思います。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて保護者に了承を得た上で行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて引き継ぎ資料を作成しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修内容に応じて参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、交流の機会は設けられていません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		児童部会への参加や協議会が実施している研修へ参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や定期的な面談時に共有しています。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			保護者向けの研修案内などをお知らせしています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時や電話などで随時対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在は実施出来ておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご意見を頂いた場合は早急に対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを通して様子をお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		配慮しながら対応しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		電話やメール、手紙など様々な媒体を使用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		現在は実施出来ておりません。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		定期的に周知の機会を設けています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回実施しました。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		外部研修への参加、施設内研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現在、そのような事例はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者を通じて医師の指示に基づく対応をしています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		会議内で情報共有を行っています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果
(公表)

公表:令和 6年 3月 11日

事業所名 fun

保護者等数(児童数) 11 回収数 9 割合 81.8%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8			1		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	2			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	8	1				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9					
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	6	1			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8	1				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	3		1		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9					
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1				
14 個人情報に十分注意しているか	9						
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	1		1		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1		1		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	9					
	18 事業所の支援に満足しているか	9				預かり時間が伸びたら嬉しい	17時終了で現在のところ、延長は考えておりません。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 11日

事業所名 funwari

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		机やマットで活動ごとにスペースを区切っている	
	2	職員の配置数は適切である	○		4~5名で対応できるようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		手すりはないものの、近くに必要な台を置くなど都度対応している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		打ち合わせの時に話し合う時間を設けている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意見を参考にしている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後第三者評価の実施などを検討していきたい
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部、外部研修の機会を共有し参加している	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年ごとにアセスメントを行い個別支援計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者からの聞き取りも都度行っている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		打ち合わせの時に活動内容を相談しあっている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日に都度内容を変更している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		外出やイベントなど様々な活動を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々のペースを大事にしながら、集団で行える活動も提供している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前に活動の打ち合わせを行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後に記録を行い、何かあった際はその都度ミーティングを実施している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		必ず記録は取っている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回は実施している		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		いろいろな形の支援を実施している		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		相談事業所を併設している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時の申し送りを共有している。必要があれば、学校を交えたケース会議を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在体制は取れておらず、対象児童が不在である
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		就学前の児童発達に訪問し引継ぎを行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		対象児童がいないが、必要があれば都度応じる
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域の研修には積極的に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在そのような機会はないが、放デイ同士の交流の機会はある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		児童部会への参加を積極的に行っている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やLINEにて細かく様子を共有することができている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者向けの勉強会も行っている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時すぐに対応できるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親子イベントや保護者向け勉強会を実施している	保護者会は実施できていないが、今後実施も検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		できるだけ早く対応するよう心掛けている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		写真付きで活動の様子を報告したり、Instagramにて発信している	
	35	個人情報に十分注意している	○		気を付けている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		各ご家庭に合わせて対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		橋大学との交流やボランティアの受け入れを実施している	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルの見直しを行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回は実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回は実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		対象児童がいない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		スタッフ間で共有し、配慮している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有し、同じことが起こらないよう気を付けている	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 6年 3月 11日

事業所名 funwari 保護者等数(児童数) 21 回収数 16 割合 75 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	16				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	1	1	入口の靴を履く椅子が低め	頂いた意見を参考にし、実施できるところはすぐに改善し対応させてもらう
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	16				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	10	2		現在そのような機会はないが、必要があれば検討していく
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	1			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1			
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	2			今後もいろんな保護者の方が参加できる内容を設けていきたい
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2		そのような機会がないのでわからない	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	2			
14 個人情報に十分注意しているか	16					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	3			マニュアルはいつでも閲覧できる場所にあるが、周知までいたっていないので、共有できるよう工夫していきたい
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	1		車に乗るときに嫌がること がある	本人の思い、ペースを大事にしながら対応させてもらっている
	18 事業所の支援に満足しているか	16				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年3月11日

事業所名 Feel

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個室や職員室、遊具倉庫は鍵のかかる扉で仕切っている	
	2	職員の配置数は適切である	○		4名以上で対応できるようにしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		スロープを必要に応じて設置できるようにしている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		都度、気になる児童や事象に対しては話す時間を設けている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		意見を参考に対応している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後第三者評価の実施などを検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部、外部研修の機会を共有し参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		適時、モニタリングを行い計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		別施設で実施したアセスメントの理解を深められるよう研修等に積極的に参加していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラムに関して意見を出し合っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		都度、内容を変更している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		クッキングや外出等の様々な活動を行っている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児の能力や状況に応じて段階的に個別、集団活動の計画を立てている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前には来所児童に対する情報共有を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の振り返りや支援中の対応の共有を行っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務日誌として記録している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回は実施している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		いろいろな形の支援を実施している	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		今後は支援者会議への参加や支援者会議開催の呼びかけも行っていく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		その日の学校での様子の確認や事業所での様子の提供等を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在体制は取れておらず、対象児童が不在である
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		新1年生に対しては療育施設等に見学に行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在、対象児が不在であるが必要があればその都度対応する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域の研修には積極的に参加している	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在そのような機会はないが、必要があれば都度応じる
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		必要な際には参加するようにしている	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やLINEにて細かく様子を共有することができている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者向けの勉強会を開催している	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時すぐに対応できるようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、保護者会は実施できていない為、保護者同士で連携がとれるような場を検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情ではなくご意見として知らせていただけるよう環境を整えている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	活動内容を写真付きで報告したり、Instagramにて情報発信を行っている	
	35	個人情報に十分注意している	○		Instagramにて情報発信する際には、個人情報が特定されないよう配慮している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		各ご家庭に合わせて対応している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域の行事やイベントには参加しているが、事業所から交流の場は開催できていない為、今後検討していきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		適時、マニュアルの見直しを行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回は実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回は実施している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明、了承を得た上で計画書にも記載し対応している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		スタッフ間で共有している 特に食事の場面には座席等にも配慮を行っている	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		スタッフ間で共有し、原因と対策について話し合っている	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果
(公表)

公表:令和 6年 3月 11日

事業所名 Feel

保護者等数(児童数)29

回収数 15

割合 51.7 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	2				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	5				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	5	1			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	1				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	1				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	7	7			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	2	5		・年に何回か保護者会があるとうれしい。	今後とも保護者向けの勉強会も実施していく予定なので保護者会も実施出来ればと考えています。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	5				
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15					
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3	2		・長期休みなどプログラムがある時があれば、予定を事前に知りたい。	なるべく早く予定を立ててお伝えさせていただきます。
14 個人情報に十分注意しているか	14	1					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	4	2		・年に一回は家族側の対応の再確認をした方がよいと考えています。	今後はスタッフ、児童含め避難訓練等を行っていき、可能であれば保護者様にも周知できるよう対応していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	6	2			
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1				
	18 事業所の支援に満足しているか	14	1				

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。